

## 日本学生支援機構奨学金 **在学猶予願** の提出について

### I この手続きの対象者

- ①奨学金の貸与終了後、本学在学中の返還猶予＝「在学猶予」を希望する方。
- ②奨学金の貸与終了後、在学猶予期間中に繰上げ返還を希望する方（利息が発生しないようにするための措置）

### II 手続方法

在学猶予を申請する年度中に、スカラネット・パーソナルから「在学猶予願」を提出（入力）してください。  
 ※卒業・修了延期により、最短修業年限以後の年度の猶予申請を行う場合は、その年度（4月以降）に提出してください。手順がわからない場合は、下記 URL から入力マニュアルを参照してください。

[https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/zaigaku\\_yuyo.html](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/zaigaku_yuyo.html)



### III 入力画面（抜粋）



ログイン後の手続き選択画面  
 →「各種届願・繰上」タブをクリック



ワンタイムパスワード発行・入力画面、  
 奨学生番号選択画面など進む



在学猶予願 願出入力	
在学猶予の願出の処理順は画面に1, 2, と付与されています。 <b>1. 該当する項目をすべて入力してください。</b>	
学校種別	<input type="radio"/> 大学 <input type="radio"/> 大学院 <input type="radio"/> 短期大学 <input type="radio"/> 高等専門学校 <input type="radio"/> 専修学校専門課程 (注) 専修学校高等課程、高等学校は「紙」による在学届の提出になります。 「紙」による在学届は機構のホームページよりダウンロードすることができます。
課程(通信教育制のみ選択)	<input type="checkbox"/> 大学・短期大学・専修学校の通信教育 (注) 聴講生、研究生、遠隔履修生、科目履修生の場合および外国留学者は、スカラネット・PSから在学猶予願を提出することができません。学校の窓口または機構へ問合せください。
課程(大学院のみ選択)	<input type="radio"/> 修士・博士前期 <input type="radio"/> 博士後期 <input type="radio"/> 一貫制博士 <input type="radio"/> 博士医・歯・獣医・薬学 <input type="radio"/> 専攻科大学院(学位を修了) <input type="radio"/> 法科大学院
学校番号	<input type="text"/> - <input type="text"/> 学校番号(半角数字8桁)と区分コード(半角数字2桁)を入力してください。
学校名(カタカナ)	<input type="text"/> 全角カタカナ最大30文字以内で入力してください。 日本学生支援大学→大学を省略し「ニホンガクセイシエン」と入力する。
学校名(漢字)	<input type="text"/> 漢字最大20文字以内で入力してください。 日本学生支援大学→大学を省略し「日本学生支援」と入力する。

在学猶予 学校情報 入力画面  
 →大学に関する項目は以下を入力：

- 学校種別                      現に在学する種別
- ※学部から院に進学した場合は、  
                                  大学院にしてください。
- 学校番号                      304074-01
- 学校名(カタカナ)          リツキヨウ
- ※「ツ」「ヨ」も全角大文字です
- 学校名(漢字)                立教



裏面へ

2. 現在校在学状況入力

入学年月  年  月

修了予定年月  年  月

在学(猶予)年数・月数 年数:  年 月数:  ヵ月

願出事由

進学  辞退  廃止  
 休学  留年  在籍中の留学  
 長期履修

現在の年次   
半角数字1文字で入力してください。

標準修業年限

現在校学籍(学生証)番号   
半角数字・半角大文字英字16文字以内で入力してください。  
 - . ( ) も半角で入力することができます。

在学猶予 在学状況 入力画面  
 →以下を参照して入力してください。

- 下記★を参照して入力
- 留年の場合は、その課程の最高学年を入力  
(例、学部5年目→4年次)
- 学部生=4年、前期課程=2年、後期課程=3年を選択

★入力の留意点

修了予定年月、在学(猶予)年数・月数

修了予定年月は、入力時点で最短の卒業・修了予定年月となります。在学(猶予)年数・月数もそれに基き、年月数を計算・入力します。

- ◇休学・留年したことはない →通常の卒業年月を入力
- ◇過去に休学歴がある場合や、入力時点で休学中の場合 →その学期は休学したもとして、その後の最短の卒業予定年月を入力(特別(9月)卒業・修了予定であっても、その年度の3月までの年月数を入力)
- ◇未来の学期(入力時点の学期を含む)を休学予定の場合 →未来の休学予定は計算に入れずに、最短の卒業予定年月を入力

願出事由

下表のとおりです。最短修業年限の年数を超える場合は、「休学」または「留年」を選択する必要があります。

「進学」	学部生：高校で受給した奨学金の猶予や、他大学から立教大学に進学したとき 院 生：学部から前期課程や、前期課程から後期課程に進学したとき →最短修業年限までの年月数を入力
「辞退」・「廃止」	辞退・廃止により貸与終了となったとき →貸与終了の翌月から卒業するまでの年月数を入力
「休学」	休学または休学留学により卒業延期となったとき →その後の最短の卒業予定年月を入力
「留年」	留年などにより卒業延期となったとき。 ※在学留学による場合も、便宜上「留年」を選択してください。

※上記以外の選択肢(「在籍中の留学」、「長期履修」等)は使用しません。

★入力の具体例

- ◇大学卒業後、立教の大学院前期課程に「進学」した。→  ※前期課程の最短修業年限
- ◇学部4年生、2021年11月分まで受領して奨学金を「辞退」した。→  ※12~3月
- ◇学部4年生(前期課程2年生)、卒業(修了)延期により2022年度も在学することになった(「留年」・「休学」)。→  ※2022年4月以降に入力可。2022年度1年間の猶予を申請できます。2022年度も在学予定であっても、在学猶予は1年度分しか申請できません(各年度に申請が必要)。

IV 手続き状況の確認

在学猶予願の提出(入力)が完了すると、大学が入力内容を確認し日本学生支援機構にデータ送信処理を行います。入力された情報に誤りがある場合は、大学側で訂正処理を行います。大学は、原則、「月初に前月入力分」を処理します。大学の処理状況や日本学生支援機構での最終的な猶予認定状況、猶予期間終了月は、スカラネット・パーソナルで確認できます。